

毒薬の手帖



[毒薬の手帖_下载链接1](#)

著者:澁澤龍彦

出版者:河出书房新社

出版时间:1984

装帧:

isbn:9784309400631

作者介绍:

澁澤 龍彦（彦=「修」の旁部分。以下、彦で代用）（しぶさわ たつひこ、本名、龍雄（たつお）、1928年（昭和3年）5月8日 - 1987年（昭和62年）8月5日）は、日本の小説家、仏文学者、評論家。

別名に澁川龍児、蘭京太郎、Tasso S.など。晩年の号に吞珠庵、無聲道人がある。澁澤自身は、自らの名前を「竜」の字で代用されることを嫌い、「私は署名をするときにも、竜彦などとは間違っても書かない。（略）これはタツではなくて、尻尾の生えたカメみたいではないか」（『記憶の遠近法』所収「ドラゴン雑感」）と発言していた。

目录:

[毒薬の手帖_下载链接1](#)

标签

澁澤龍彦

日本

评论

在1962年的《宝石》志上连载的时候负责插画的是宇野亚喜良。没有收入《毒药手帖》的单行本和文库本，收录于《宇野亚喜良 UNO AQUIRAX Works of the 1960's》（有空要去看看！

Mandragora的小故事过于可爱值得反复重写。利尔亚当的怪奇短篇《断头台的秘密》目前也很容易读到，收在文库版筑摩文学之森系列的选集『恐ろしい話』里。/今天读到对大江健三郎来说来自英语的假名「ナショナルリズム」和来自法语的「ナナシヨナリテ」对他来说的意义是完全不同的。就无端想到布勒东也会参考的杂志nature，涩泽（理所当然地）没选择法语读音，选择了读音听起来过于像魔术杂志的……「ネイチャー」。

[毒薬の手帖_下载链接1](#)

书评

[毒薬の手帖_下载链接1](#)